

本日の日経新聞 4 面には、**激変「石油地図」ヤーギン氏語る**と題する記事が乗っていた。(埼玉版なので、他の地域では違う面なのかもしれないけれども)

大見出しは、「**米、エネ自給率高める**」「**中国、中東と関係深化**」～シェールガス革命後の「**石油地図**」となっている。

記事の要旨はこうだ。

- 1、 現在 100 ドルを突破している原油価格は、イラン制裁が発動される夏場に向けて緊張が高まる。
- 2、 米国の国内消費に占める輸入石油の割合は、年々低下している。
- 3、 米国の天然ガス埋蔵量は、国内需要の 100 年分はある。
- 4、 石油の流れのリバランスが起き、今後 10 年間で中東から米国への流れは低下。その分カナダ、ブラジルから増加する。
- 5、 中東からアジア（中国）への流れは増加する。よって安全保障体制も変化する。
- 6、 オイルピーク論には懐疑的で、オイルサンド、シェールオイル、深海油田などの技術革新で対応出来る。
- 7、 しかし資源がそこにあるのと、供給できることは別問題。それは今のイラン情勢に見るとおりである。

オイルピーク論に懐疑的なのは当方も同じで、そりゃ資源なのだから有限ではあろうが、何十年も前から無くなる無くなると言われ続けても、新たな油田の発見でなんとかなっているのが現状だ。

そして石油資源は中東に集中しているわけだが、天然ガスはまた違う地域に、シェールガスもまた違う地域にあるわけで、日本だって近海にはメタンハイドレートという資源があるわけだ。

もっともあるのと供給できることは別問題だし、米国なんぞは全く自己資源を掘ろうという意識はないようでもある。日本もよほどの事が無い限り、開発はしないのだろう。

例えばオイルサンドのコストが現在幾らなのかは知らないが、ちょっと前は 60 ドルとか 70 ドルとか言われていたような気がする。

現在の原油価格だと楽々採算に乗るのだろうが、かつてのような 30 ドルとかの原油価格では採算割れである。

現在のような 100 ドル相場なら、大概の石油は採算に乗るのだろうから、何とかなくなってゆくのだろう。中東の比率が落ちてゆくなら、そこでの緊張から 200 ドルになるとかいう波乱も避けられるのかもしれない。

そうは言っても、技術革新～開発には時間が掛かる。今年の日本は、原発の停止で石油需要は間違いなく増加するのだろうし、夏場に中東情勢が緊迫化すれば大騒ぎだろう。

そういえば震災前まであんなに騒いでいた「地球温暖化」とやらは、一体どこへ行ったのだろう。元々そういう事には懐疑的な当方だったが、火力発電を増やしても何の文句も出なくなったね。

## 〔貴金属〕

### 今週の金の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
3月26日	¥4,418	31	¥4,428	31
3月27日	¥4,509	91	¥4,519	91
3月28日	¥4,469	-40	¥4,479	-40
3月29日	¥4,408	-61	¥4,421	-58
3月30日	¥4,384	-24	¥4,395	-26

金相場は、先週号においては『もう一段安を期待しており、本格的な買い場はそこらだろうとの見方である。目標値、ストップロスは、本文に記載のとおり』とコメントした。

今週の相場展開は、27日に急騰した相場が28日夜間取引で4,560円まで上昇。3/12の高値4,558円を抜くまで上がり、そこからは反落。結局週末には、再び4,300円台へと値を消す荒い展開であった。

○東京金日足

…削除済み…

もう一段安を期待していた相場だが、週前半は急騰。先週号でコメントしたストップロスの4,481円はあっさりと成立であり、その後また28日の陰線から売りになった格好だ。ただしそれも、週末・月末・年度末の30日に利食いを掛けていないと、またどうなるか判らんような状況であるが…。

結局のところ今週の動きは、売り方が踏まされる3/12の高値を無理やり付けられ、それが出たので年度末要因で今度は急落させられ、買い方の投げも出ただろうからまた戻した…という内部要因主体の動きだったのだろう。

まだちょっと先の話ではあるが、…中略…

目先のトレンドは、3度目の4,300円台を記録してまた現在戻しているのだから、もみ合いの中での若干強い上向きの相場であろうと見る。

先週号で「4,104円まで下げれば絶好の買い場と見ている」としたが、それよりももう一度4,600円台を目指すのが先かもしれない。

なお一代の動きは以下のとおり。

#### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥3,970	4月26日	¥4,751	9月7日	¥3,807	12月30日	¥4,384
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,391
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,394
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,394
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,395
2012年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥4,331	3月7日	¥4,395

○NY金日足 (3/29現在)

…削除済み…

週末3/30のNY市場は、前日比17.1ドル高の1669.3ドル。国内換算では15時半比69円高

であり、夜間取引ですでに織り込み済み。

NY 金はすでに一目均衡表の雲の下限での動きであるが、…中略…

CFTC 発表の 3/27 現在のファンドのポジションは、…中略…

3/30 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、4 月前半はどちらかと言えば押し目買いが有利か。もう一度 4,600 円台を目指すのが先であるとの見方である。

#### 今週のプラチナの値動き

	4 月限(当限)	前日比	2 月限(先限)	前日比
3 月 26 日	¥4,359	9	¥4,375	9
3 月 27 日	¥4,429	70	¥4,448	73
3 月 28 日	¥4,385	-44	¥4,399	-49
3 月 29 日	¥4,365	-20	¥4,383	-16
3 月 30 日	¥4,328	-37	¥4,347	-36

プラチナ相場は、先週号においては『予想通りの 2 番天井からの下げだが、もう一段安を期待している。しかし、ここからの急落場面は、買い場となるだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週前半は上昇して 4,499 円 (3/28) まで反発し、週後半は一転して下落で 4,300 円台前半まで下落。だが週末の夜間取引では、また 4,400 円台まで戻している。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

4,589 円 (3/14) →4,295 円 (3/23) までの下げ幅は 294 円。今週はその範囲内での動きである。

先週号では「出来れば 4,191 円 (3/7) を割り込んで欲しいし、最大下げれば 4,191 円→4,589 円までの上げ幅 398 円の倍返しである 796 円、つまり 3,793 円までの下げが想定されるが、それは高望みし過ぎだろう」としたが、どうもまだそんなに下はなさそうだ。むしろ今は、もみ合いの中での高値志向にまた変化したかもしれない。

週末 3/30 の NY プラチナは、…中略…

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 4 月	¥4,826	4 月 26 日	¥4,921	5 月 6 日	¥3,363	12 月 30 日	¥4,328
2012 年 6 月	¥4,445	6 月 28 日	¥4,770	8 月 23 日	¥3,370	12 月 30 日	¥4,324
2012 年 8 月	¥4,581	8 月 29 日	¥4,726	9 月 7 日	¥3,380	12 月 30 日	¥4,327
2012 年 10 月	¥3,918	10 月 27 日	¥4,570	3 月 14 日	¥3,375	12 月 30 日	¥4,329
2012 年 12 月	¥3,605	12 月 26 日	¥4,582	3 月 14 日	¥3,376	12 月 30 日	¥4,339
2012 年 2 月	¥4,535	2 月 27 日	¥4,589	3 月 14 日	¥4,191	3 月 7 日	¥4,347

○白金一金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,347 円（プラチナ） - 4,395 円（金） = -48 円。

-547 円（12/8） → 95 円（3/16） までのサヤ変化が起きたわけだが、今は調整中の展開だ。ただし-200 円以下は用済みだろうし、この辺でサヤの値固めを行うのではないかと見ている。

結論として当方の相場観は、目先は底堅い動きで上値志向をする相場ではあるまいか。いずれは下値もあるかもしれないが、目先は 4,500 円台を回復するのが先だろうと読む。

〔穀物〕

今週のコーンの値動き

	5月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
3月26日	¥26,740	-130	¥24,310	-170
3月27日	¥26,490	-250	¥24,450	140
3月28日	¥26,090	-400	¥24,140	-310
3月29日	¥25,760	-330	¥23,660	-480
3月30日	¥25,570	-190	¥23,160	-500

まずはコーンから…

先週号においては『天候異変がない限り、ファンダメンタルズからは買い目は薄い相場だと考えているものの、シカゴでのファンドの買い意欲は旺盛である。31日の作付面積意向発表を見て、また考えたい』とコメントした。

今週の相場展開は、内外とも急落に転じた相場が大きく値を消し、週末には**23,050円**の安値まで記録。もっとも米農務省発表後は、シカゴは一転して急騰しており、東京市場の夜間取引も急反騰している。

○東京コーン日足

…削除済み…

**25,180円(3/19)→23,050円(3/30)**まで2,000円以上の下落を演じた相場だが、今週の1,000円超の下げは圧巻であった。

特に何らかの材料があったわけではないが、結局のところ年度末要因の内部要因が大きかったのだろう。

だが相場は、すでに次のステージに向かっている。**週末のシカゴ市場は、一部ストップ高を付けるなど急騰しており、一気に値を戻している。**

これは、週末の米農務省報告による**四半期在庫が急減**だったためである。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥27,970	4月18日	¥29,360	4月21日	¥22,000	11月28日	¥25,570
2012年7月	¥28,180	6月16日	¥28,560	8月30日	¥22,110	12月15日	¥25,360
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥25,280
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥25,060	3月19日	¥21,110	1月1日	¥23,040
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥24,890	3月19日	¥21,650	12月16日	¥22,870
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥25,180	3月19日	<b>¥23,050</b>	<b>3月30日</b>	¥23,160

○シカゴコーン日足(3/29現在)

…削除済み…

週末**3/30**のシカゴ市場は、5月限で前日比**40.00セント**高の**644.00セント**。国内換算では15時半比**1450円**高である。

さて週末の米農務省報告の内容である。

…中略…

相場はこの四半期在庫の減少を材料に急騰したわけだが、作付面積は多いわけだから、今後内外とも逆ザヤが拡大するのだろう。

もちろん新穀は今後の天候相場次第なわけだが、市場は 675 セント→604 セントまで大きく下落して市場人気が弱気に傾いていた中で、過敏に材料に反応したと見るのが妥当だろう。

実際に 1,450 円高を東京市場先物が記録するようなら、一発売ってみても面白いかもしれんな。

なお CFTC 発表の 3/27 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、週末のシカゴ市場は急騰だが、冷静に見れば強弱両方の材料である。逆ザヤは拡大するだろうが、手放しで買える相場ではないと見る。

#### 今週の大豆の値動き

	4 月限(当限)	前日比	2 月限(先限)	前日比
3 月 26 日	¥41,000	30	¥45,300	250
3 月 27 日	¥43,000	2000	¥45,500	200
3 月 28 日	¥43,800	800	¥45,510	10
3 月 29 日	¥43,000	-800	¥45,030	-480
3 月 30 日	¥42,300	-700	¥44,370	-660

続いて一般大豆です…

先週号においては『今はまだ指数調整の下げであろう。シカゴでのファンド買いは 20 万枚を突破し、行き着くところまで行って終わる相場であると想定している』とコメントした。

今週の相場展開は、週前半は上昇したものの、週末 2 日間で急落。高値からは一気に 1,500 円ほどの下げを演じた。しかしシカゴの発表を受けた夜間取引では、早速また急騰を開始している。

○ 東京大豆日足

…削除済み…

今週末の下落は、週末・月末・年度末と重なったことや、発表前の利食い、指数調整などが重なったものだろう。若干円高になったほかは、さしたる材料もなかったわけだから。

そんな下げだったわけだが、相場は既に新たなステージに向けて走り出している。週末のシカゴ市場では、国内換算 1,770 円高の急騰での入電なのだから。

なお一代の動きは以下のとおり。

#### 東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 4 月	¥50,170	4 月 18 日	¥51,180	4 月 21 日	¥31,200	12 月 16 日	¥42,300
2012 年 6 月	¥49,820	6 月 16 日	¥49,910	9 月 5 日	¥33,600	12 月 16 日	¥41,200
2012 年 8 月	¥47,450	8 月 16 日	¥50,110	9 月 5 日	¥35,610	12 月 15 日	¥41,800
2012 年 10 月	¥44,250	10 月 17 日	¥44,250	10 月 17 日	¥36,410	12 月 15 日	¥42,600
2012 年 12 月	¥37,500	12 月 16 日	¥44,360	3 月 19 日	¥36,830	12 月 16 日	¥43,140
2013 年 2 月	¥41,900	2 月 16 日	¥45,990	3 月 19 日	¥41,050	2 月 16 日	¥44,370

○シカゴ大豆日足 (3/29 現在)

…削除済み…

週末 3/30 のシカゴ市場は、5 月限で 47.50 セント高の 1403.00 セント。東京市場 15 時半比では 1,770 円高である。

シカゴ市場はまた新高値更新である。上げ要因は、強気の米農務省報告である。

さて米農務省報告の内容である。

…中略…

もちろん今年の生産高は今後の天候次第であるが、明らかにコーン以上に強いファンダメンタルズである。

しかし相場の方は、コーンがストップ高を付けたのに対し、大豆は 70 セント高のストップ高には届いていない。元々、ファンドの買いが多かったので、利食い売りも出たのであろう。

CFTC 発表の 3/27 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、年初来高値の更新は必至か。上がるだけ上がって天井を売ってくれた方がうれしいが、目先はまだ買い継続の相場であろう。

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
3月26日	310.5	0.5	333.1	2.5
	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
3月27日	319.0	3.5	339.8	
3月28日	316.6	-2.4	336.8	-3.0
3月29日	311.6	-5.0	329.1	-7.7
3月30日	309.0	-2.6	325.7	-3.4

先週号においては『突っ込みは買い、吹き値は売りの逆張り対処だろう。今しばらくは、もみ合いの展開を予想する』とコメントした。

今週の相場展開は、340円台で始まった9月きり発会から下げ始め、週末には324円台まで下落。17円ほどの調整を入れる事となった。

○東京ゴム日足

…削除済み…

今週は4日連続安が出たが、相場は相変わらず320円～340円でのもみ合いの範囲。

今後も多少はそれを行き過ぎたとしても、概ねその範囲での逆張りを続けそうだ。もちろん何らかの大きな材料が出れば別だが。

タイの市場介入は開始されたようであるが、微量に留まっている模様で動きは鈍い。そりゃ介入というのは、税金を使う行為だ。あまりやらずに済むなら、それに越したことはないのほどこでも一緒だろう。

結局のところ、原油や株価・為替の動向など、様々な材料が複合して今後の相場動向に影響するのだから、今は中立となったチャートがどちらに向かうのかを見て行く事が肝要なのだろう。それまでは逆張りである。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年3月	318.7	9月27日	327.9	10月17日	247.5	11月11日	<b>310.5</b>
2012年4月	292.5	10月26日	330.6	2月27日	248.6	11月11日	309.0
2012年5月	266.0	11月25日	335.0	2月27日	256.9	1月5日	311.7
2012年6月	279.6	12月22日	339.5	2月27日	258.7	1月5日	316.3
2012年7月	324.0	1月26日	342.0	2月27日	307.5	1月31日	319.8
2012年8月	340.7	2月24日	344.4	2月27日	320.4	3月7日	323.2
2012年9月	<b>341.2</b>	<b>3月27日</b>	<b>341.9</b>	<b>3月27日</b>	<b>324.1</b>	<b>3月30日</b>	325.7

当先のサヤは、4月限309.0円～9月限325.7円と16.7円の順ザヤ。順ザヤ幅は若干詰まった。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、3/20現在で165トン減の14,092トン。3旬ぶりの減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、27,000 元台まで若干値を消す動き。大きく下げているわけではないが、完全に勢いを失っている状況。

結論として当方の相場観は、320 円～340 円程度での逆張り相場が続くだろう。仮に行き過ぎても、すぐには放れない相場であると見る。

## [石油製品]

### 今週の原油の値動き

	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
3月26日	¥63,880	280	¥61,680	500
3月27日	¥63,940	60	¥62,270	590
3月28日	¥63,800	-140	¥61,890	-380
3月29日	¥63,610	-190	¥61,340	-550
3月30日	¥63,640	30	¥60,290	-1050

まずは原油から…

先週号においては『週末の安値で調整は終了した可能性が高いただろう。今後も押し目買いの継続であり、円高で売られた場面は良い買い場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は29日に急落して102ドル台へ。105ドル～110ドルでのみみ合いから若干下抜けたかと思われたが、週末30日は103ドル台へ小反発して終了である。

東京原油は、62,000円台半ばまで今週買われた後、週末まで値を消して一時6万円の大台割れ。しかし夜間取引ではやはり戻している。

○ NY原油日足 (3/29現在)

…削除済み…

週末3/30のNY市場は、前日比0.24ドル高の103.02ドルでの終了。国内換算では15時半比410円高である。

NY原油の直近の高値は110.55ドル(3/1)であるが、底堅かった105ドル台を割れ、一時102ドル台まで下落。チャートではちょうど一目均衡表の雲の上であるが、ここから更に下がる材料なんてあるのかしらん？というところ。

結局内外とも、月末・年度末要因で売られたのではないかと思われ、押したところは買い場になったのではあるまいか。

とにかく今年は、中東イラン問題がきな臭いわけで、誰もが夏場に向けて上がると思っている。皆がそう思うと逆に行く場合もあるのが相場だが、ゴールドマン・サックスもブレントで夏場には140ドル目標とぶち上げているわけで、GW前までは少なくともその意見に逆らいたくない。

なおそのロンドンブレント…中略…

3/27現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

先週号で「もしももう一段の円高局面到来となれば6万円割れもあるだろうが、NY原油が底堅い中ではそれも押し目買いだろう」としたわけだが、62,000円台半ばからの円高での反落は、ちょうど6万円割れで止まって反発である。

おそらく今後も、よほどの事態が発生しない限り、58,740円(3/2)の安値は割れないだろう。割り込めば一時的に急落だろうが、現状の原油市場を取り巻く環境の中では、それを考えるよりは3/16の高値63,550円を何時上抜くかという事を考えた方が良いただろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

#### 東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年3月	¥45,770	10月3日	¥64,480	3月15日	¥44,390	10月5日	¥63,640
2012年4月	¥50,630	11月1日	¥65,020	3月15日	¥48,130	12月19日	¥61,690
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥64,380	3月15日	¥47,910	12月19日	¥61,290
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥64,020	3月15日	¥51,100	1月4日	¥60,850
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥63,810	3月15日	¥51,040	2月3日	¥60,550
2012年8月	¥59,290	3月1日	¥63,550	3月15日	¥58,740	3月2日	¥60,290

結論として当方の相場観は、今後も押し目買い継続の相場であろう。そうそう簡単に、今の原油相場は天井を打たないという見方である。

#### 今週のガソリンの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
3月26日	¥77,170	170	¥74,300	
3月27日	¥77,570	400	¥74,990	690
3月28日	¥77,130	-440	¥74,530	-460
3月29日	¥76,780	-350	¥74,140	-390
3月30日	¥76,100	-680	¥73,320	-820

続いてガソリンです…先週号においては『週末までの3,000円下げは単なる調整であろう。未だ押し目買い継続の相場で、新高値更新を目指す相場であると読む』とコメントした。

今週の相場展開は、週末3日間の下げで値を消した相場が、一時的に73,000円割れ。しかし週末の夜間取引では、すでに戻し始めている。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週の押しも75,430円(3/28)→72,980円(3/30)まで2,450円。3,000円程度までの押しは買い場である。

原油価格が高止まりする中、中東情勢という懸念が残り、さらに国内需給も悪くない。懸念は一時的な円高だが、それがあつての調整であり、そういう場面は捨っておく相場である。

一代の推移は、以下のとおり。

#### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥62,380	10月26日	¥80,750	3月15日	¥59,350	11月22日	¥73,100
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥80,590	3月15日	¥60,510	12月19日	¥75,890
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥79,810	3月15日	¥62,500	12月30日	¥75,390
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥78,910	3月15日	¥64,920	2月3日	¥74,820
2012年9月	¥75,030	2月27日	¥77,810	3月15日	¥71,700	3月1日	¥74,160
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	¥72,980	3月30日	¥73,320

3/30現在の業者間転売価格は、…中略…

3/24 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い継続の相場であろう。原油価格が高止まりする中で、スポットは8万円に乗せており、先物市場は割安との判断である。

#### 今週の灯油の値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
3月26日	¥72,540	140	¥74,380	
3月27日	¥72,750	210	¥74,820	440
3月28日	¥72,510	-240	¥74,470	-350
3月29日	¥72,250	-260	¥73,930	-540
3月30日	¥71,450	-800	¥73,080	-900

最後に灯油です…先週号においては『3,000円安の調整は出たものの、調整はこの程度だろう。今後も押し目買いの相場は続くと思われ、急落場面は拾っておく相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週末までの下げで一時的に72,000円台に突っ込んだものの、週末の夜間取引ではもう反発を始めた格好で終了した。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週スタートした10月きりは、75,370円(3/28)→72,670円(3/30)まで2,700円の下落。また3,000円近い調整安が出たものの、夜間取引では74,000円の高値もすでに付けている。

本当に崩れるなら、息もつかせず一気に下がるのがこの相場であり、そうならないのはまだトレンドが崩れていないからだろう。

スポットとしてはすでに需要期明けの相場であるが、先物市場で現在建っているのは10月限。今後11月、12月と需要期限月が立ち始めるわけで、ピークの1月きり発会に向けて高い事は想定出来る話だ。

1月きりが発会するのは6月末であり、そこまで高値が続く可能性は否定できないだろう。

なお一代の推移は、以下のとおり。

#### 東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥61,740	10月26日	¥74,050	3月15日	¥59,010	12月19日	¥71,450
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥74,200	3月15日	¥58,700	12月19日	¥71,130
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥74,500	3月15日	¥50,660	12月30日	¥71,320
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥75,130	3月15日	¥61,870	2月3日	¥71,690
2012年9月	¥73,400	2月27日	¥75,730	3月15日	¥70,040	3月1日	¥72,110
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	¥72,760	3月30日	¥73,030

3/30 現在の業者間転売価格は、…中略…

3/24 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い継続の相場であろう。需要期明けでスポットは伸びないだろうが、先物は別と考えている。

## [為替]

### ○ ドル/円相場日足

…削除済み…

84.17 円 (3/15) まで円安が進んだ相場は、週末まで指数調整の円高到来となり、一時は 81.80 円まで円高に。ただしその後は、また 82 円台後半まで円安となっている。

今週末に商品市場が大きく下落したのは、週末・月末・年度末と利食い売りが出易かった環境の中、為替相場も円高に振れたのが大きかった。

いくら円高になっても、現在のチャートではせいぜい 80 円辺り。ただし 84 円で円安のピークも打っているチャートだが、新年度入り以降にどう動くのかは、各国中央政府の政策次第だろう。

### ○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

111.42 円 (3/21) まで円安となった相場は、108 円台まで円高にはなったが、まだ崩れた格好には見えない。週末の NY タイムでも 110 円台へとまた円安に戻っている。

為替の専門家ではない当方には、なぜユーロが強く、ドル・円が弱いのかは判らんが、ユーロが崩れないと商品相場も大きくは崩れないのだろう。

### ○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

こちらも分岐点で支えられて、ドル安/ユーロ高になっている。別にユーロが強いわけじゃあるまいが、こういうものはあくまでも相対的なものだからね。